

高幡地域アクションプランの進捗状況等について

(第3四半期)

高幡地域アクションプランの進捗状況等

H 2 9 . 2 . 1 4

高幡地域本部

1 地域アクションプランの平成 28 年度（第 3 四半期）の実施状況（総括）

(1) 総評

全 42 項目の地域アクションプランについて、実行支援チームを編成し、事業推進に向けた協議と進捗管理を行うとともに、各支援制度の活用などにより、それぞれの目標の達成に向けて取り組んでいる。

農業分野では、まとまりのある産地づくりなどにより、みょうがやにらなど全国トップのシェアを誇る園芸品目の品質確保と生産拡大に取り組むとともに、中山間地域でのゆずや加工用わさびなど補完品目の生産拡大と複合経営などによる農家所得の向上を目指して取り組みを進めている。

また、JA土佐くろしおの直販所「とさっ子広場」は、地元の豊富な農産物、水産物の販売のほか、イトインコーナーでの軽食の提供などにより、販売額、来客数とも順調に推移している。

畜産分野では、四万十町産豚肉のブランド価値を高め、関連産業を含めた地域産業クラスターの形成に取り組んでいる。昨年 4 月に（農）四国デュロックファームが整備した加工・直販所は概ね順調に売上を伸ばしており、12 月には高知市内に 2 店舗目となるバル形式の飲食店がオープンした。また、同じくクラスターを構成する（農）平野協同畜産が、規模拡大と生産効率の改善に向けて畜舎の整備を進めている。

林業分野では、四万十町森林組合では、F S C、S G E C の森林認証材など「四万十ヒノキ」をはじめとする地域材のさらなる販売促進を図るため、都市部の家具デザイナーやバイヤーの産地への呼び込みによる成約率の向上を目指して、集成材製品の展示・商談施設の整備に着手した。

また、国内の高級ベッドメーカーが「四万十ヒノキ」シリーズのベッドを 9 月に商品化したことにより、東京・大阪のギャラリーでの展示販売が好調である。

水産分野では、平成 27 年度に操業を開始した須崎市と中土佐町の 2 か所の水産加工施設において、それぞれ、県外の取引先への定期的な外商活動や県外からの産地視察の受入れ等により、販売量を徐々に拡大している。

商工業分野では、中土佐町の情報発信や地産外商の中心拠点となる道の駅の整備に着手し、現在、本年夏のオープンを目指して、出荷者やテナントとの運営協議等を進めている。

観光分野では、昨年 4 月から 12 月に開催した「2016 奥四万十博」において、5 市町や地域住民・民間事業者が連携して全国への情報発信を展開し、主要観光施設・宿泊施設・体験プログラム・イベントとも前年を上回る集客実績となった。博覧会終了後も、これまでに培ったノウハウを活かした取り組みを継続できるよう専任職員を配置して、5 市町が連携して広域で観光を推進することとしている。

また、須崎市では、浦ノ内湾を海洋スポーツの拠点として整備し、スポーツ大会の開催や体験型観光等の推進による地域の活性化を目指して取り組みを進めている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 地域基幹園芸品目の生産振興と農家の所得向上(須崎市、中土佐町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A土佐くろしお 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>主要農産物3品目(みょうが、きゅうり、ししとう)</p> <p>販売額: 92億円<H27:85.6億円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>主要農産物3品目(みょうが、きゅうり、ししとう)</p> <p>販売額: 82億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目慣らし会: 22回 ・ 現地検討会: 10回 ・ 栽培現地実証圃の調査: 24ヶ所 ・ IPM技術の実証圃の調査: 24ヶ所 ・ 環境制御技術の実証圃の調査: 56ヶ所 ・ 各PT会で、活動計画の検討と関係者間での目標の共有 ・ 環境制御技術を活用した栽培に関心を持つ農家の増加 ・ 環境制御機器の導入 (環境測定装置) みょうが16戸、きゅうり1戸、ししとう4戸 (炭酸ガス施用装置等) みょうが10戸、きゅうり3戸、ししとう3戸 ・ H31年度までに各戸1機の排液処理・循環装置導入をみょうが生産部会で決定 ・ 販売額(H28園芸年度): 85.6億円(前年比100%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栽培技術の定着化 ⇒目慣らし会等の開催、定期的な巡回指導の実施 ・ 排液処理・循環装置の導入 ⇒国補助事業の活用を検討
<p>■No.2 J A土佐くろしおが担う地域農業の活性化(須崎市、中土佐町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 榑土佐くろしお村村営みのり ・ J A土佐くろしお 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>全作業受託面積: 10ha<H27:5ha></p> <p>一部作業受託面積: 54ha<H27:28ha></p> <p>販売額: 195,100千円<H26:77,185千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>全作業受託面積: 9ha</p> <p>一部作業受託面積: 30ha</p> <p>販売額: 142,747千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>[米作受託]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規雇用者数(パート): 1名 ・ 規模拡大、耕作放棄地対策として小型トラクター導入

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・全作業受託面積(11月末)：約10ha ・一部作業受託面積(11月末)：約27ha [直販所] ・直販所(とさっ子広場)開店(4/21) ・生産者勉強会：1回 ・新規雇用者数(パート)：16名 ・販売額(4/21～11月末)：134,790千円 [課題と今後の対応] ・直販所の売上向上 <ul style="list-style-type: none"> ⇒出荷者・顧客の聞き取り調査、販売データ分析 ・米作受託地が点在 <ul style="list-style-type: none"> ⇒受託地をまとめることによる効率化 ・育苗センターの統合 <ul style="list-style-type: none"> ⇒県補助事業の活用に向けた支援
<p>■No.4 中山間地域での持続可能な農林業経営の確立(梶原町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA津野山 	<p>[目標(H31)]</p> <p>主要農産物5品目(みょうが、土佐甘とう、ししとう、米なす、小なす)販売額：3.2億円<H26:2.7億円></p> <p>農業分野補完品目(ゆず+加工用わさび)販売額：20,000千円<H26:8,099千円></p> <p>所得400万円以上の農家数：8戸<H26:6戸></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>主要農産物5品目販売額：2.9億円</p> <p>農業分野補完品目(ゆず+加工用わさび)販売額：14,500千円</p> <p>所得400万円以上の農家数：6戸</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者部会の開催：20回 ・実証圃の設置：15ヶ所 ・帰省者向け相談会開催(8/14)：2名参加 ・ゆず売上(H28園芸年度)：18,409千円(前年比187%) ・加工用わさび売上(H28園芸年度)：4,620千円(前年比122%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒営農みらい塾開催

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.5 葉にんにくを活用した加工食品の生鮮・販売の拡大(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)アースエイド</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:40,000千円<H26:5,719千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高:30,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示商談会等の参加:8件 ・須崎市産振補助金を活用した成分分析及び販売促進業務の委託 ・新規取引開拓:23件 ・新商品開発:3品目(黒にんにくペースト、黒にんにく、アヒージョ) ・産振アドバイザーの活用(マーケティング戦略の策定) ・地元パン店等とのコラボの「じゃこペーゼピザ」販売(パン(ピザ)×じゃこ×葉にんにくジェノベーゼ) ・売上高(11月末):9,342千円(前年同期比93%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路の開拓 ⇒民間事業者を活用した県外への販売促進活動の強化
<p>■No.6 大野見米のブランド化(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・おおのみエコロジーファーマーズ</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>エコ米販売量:27t<H27:12.9t></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>エコ米販売量:16t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作付面積(H28):9.9ha(前年比102%) ・執行委員会の開催:3回 ・ほ場の巡回指導による栽培指導の実施:1回 ・病虫害防除等の現地検討会の実施:1回 ・まるごと高知、高知大丸、ゆういんぐ四万十等での販促活動:6回 ・教育現場との交流活動:4回 <p>高知県立大学(COME☆RISH)田植え体験交流、生育状況確認、清流度調査、水生生物調査、収穫体験</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の拡大 ・作付面積の拡大 ⇒生産拡大に向けた営農指導

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.7 梶原産キジ肉の生産・販売の拡大 (梶原町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梶原町雉生産組合 ・梶原町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額 : 22,000 千円<H26:14,367 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額 : 17,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地視察型商談会への参加 : 2 回 (6 社商談) ・新規取引先 : 6 件 (うち県外 4 件) ・町内飲食店で提供されるキジ肉料理「キジグルメ」を龍馬パスポートに登録 : 9 店舗参加 ・飼育マニュアルを作成中 ・販売額 (11 月末) : 5,745 千円 (前年同期比 110%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓 ⇒商談会への参加 ・担い手の確保 ⇒飼育マニュアルの作成による新規就農者の掘り起こし
<p>■No.8 つの茶販売戦略 (津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・J A津野山 ・津野町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>茶製品販売額 : 34,000 千円<H26:13,596 千円></p> <p>荒茶販売額 : 54,000 千円<H26:51,218 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>茶製品販売額 : 25,901 千円</p> <p>荒茶販売額 : 52,489 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つの茶の販促イベントの実施 : 16 回 ・かぶせ茶の生産面積の拡大 H27 : 0.5ha → H28 : 0.65ha ・津野町が「茶業アドバイザー」を設置し、イベント等で PR ・茶製品販売額 (11 月末) : 15,540 千円 (前年同期比 116%) ・荒茶販売額 (H28 年度実績) : 47,769 千円 (前年比 136%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶製品の販路拡大 ⇒イベント参加から販売先の開拓に重点をシフト ・茶産地の維持、耕作放棄地対策 ⇒大手企業に対し、茶園管理経費の支援による景観保全につながる企画を提案

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.9 みどり市を核とした「地消地産」の推進(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA四万十</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>産直コーナーの販売金額 : 300,000千円<H26:221,286千円></p> <p>手作りキッチンの販売金額 : 32,000千円<H26:30,047千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>産直コーナーの販売金額:250,000千円 手作りキッチンの販売金額:33,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどり市産直の運営に係る検討会:8回 ・みどり市総会:1回 ・野菜栽培講習会:8回 ・野菜栽培現地巡回指導:22回 ・手作りキッチンの運営に係る検討:22回 ・ときめきバイキング:8回 ・産直コーナーの販売金額(11月末):106,698千円 (前年同期比106.4%) ・手作りキッチンの販売金額(11月末):26,398千円 (前年同期比122.3%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物の生産出荷量の増加 ⇒新規生産者への栽培技術指導 ・販売促進 ⇒新商品の開発やメニューの充実
<p>■No.10 四万十の栗再生プロジェクト(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・四万十の栗再生プロジェクト推進協議会</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>原材料供給量(JA集荷量):45t<H26:17t> 加工品売上高:60,000千円<H26:33,320千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>原材料供給量(JA集荷量):25t 加工品売上高:60,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十の栗再生プロジェクト推進協議会:1回 ・栗技術チーム会:4回 ・目慣らし会、講習会、研修会等の栽培技術集団指導:3回 ・協議会の課題解決に向けた関係機関等との協議:7回 ・栗の剪定技術指導のため栽培技術者(指導剪定士)1名を委嘱(H28年度) ・新商品の開発:3種類(栗スイーツ・四万十ドラマ) ・「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」採択 (ペースト加工用機械の導入・四万十ドラマ)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1.5 次加工施設整備に係る産地パワーアップ事業の事業計画作成(しまんと新一次産業) ・ 四万十の栗剪定補助事業(四万十町)を活用した剪定指導 24 名(12/13~12/19、13 回) ・ 四万十地栗モンブラン(四万十ドラマ)が高知家のうまいもの大賞 2017 に入賞 ・ 農林水産業みらい基金 2016 年度助成対象に決定(四万十ドラマ) ・ JA 栗集荷量: 29t(前年同期比 121%) ・ 加工品売上高(11 月末): 52,703 千円(前年同期比 115%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栗の生産出荷量の増加 ⇒低樹高栽培に向けた剪定技術の普及
<p>■No. 13 四万十町畑作振興プロジェクト (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十野菜合同会社 ・ (株)ハマヤ 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額: 118,911 千円<H26:0 円> 雇用者数: 18 人(累計) <H26:0 人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額: 76,660 千円 雇用者数: 7 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定例会: 8 回 ・ 四万十野菜合同会社の経営安定支援: 6 回 ・ 野菜栽培指導: 15 回 ・ 四万十野菜の販売促進(検討会・情報提供・協議・情報交換会): 4 回 ・ 四万十野菜のブランド化に向けた会議: 2 回 ・ 野菜取引先: 12 社 ・ 宅配野菜セット 550 件受注(四万十町ふるさと納税返礼品・四万十野菜有機栽培グループ) ・ 四万十野菜合同会社雇用者数: 7 名 ・ 販売額(11 月末): 39,943 千円 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十野菜のブランド化に向けた露地野菜の産地化 ⇒四万十野菜合同会社の経営安定と委託農家の確保

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 四万十のうまい豚プロジェクト (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十ポークブランド推進協議会 ・ 農事組合法人四国デュロックファーム ・ 農事組合法人平野協同畜産 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>(農)四国デュロックファーム売上高 : 551, 545 千円<H27:518, 785 千円></p> <p>(農)平野協同畜産母豚数 : 500 頭<H27:420 頭></p> <p>(農)平野協同畜産年間出荷頭数 : 11, 000 頭<H27:8, 400 頭></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>(農)四国デュロックファーム売上高 : 537, 271 千円 (農)平野協同畜産母豚数 : 420 頭 (農)平野協同畜産年間出荷頭数 : 8, 400 頭</p> <p>[取組状況]</p> <p>[四万十ポークブランド推進協議会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 打合せ会 (クラスター計画の共有・修正、総会の準備、役割分担、進捗管理等) : 10 回 ・ 通常総会に係る準備会 : 2 回 ・ 通常総会 : 1 回 ・ 臨時総会 : 1 回 <p>[(農) 四国デュロックファーム]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加工場及び直販所開業 (4 月) ・ バーベキュー施設開業 (7 月) ・ 豚カツ・豚串等専門店開業 (12 月・ひろめ市場) ・ 加工場、直販所 (四万十町) 売上高 (11 月末) : 42, 994 千円 ・ 飲食店 (高知市) 売上高 (11 月末) : 9, 249 千円 <p>[(農) 平野協同畜産]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産振総合補助金に係る打合せ : 22 回 ・ 産振総合補助金の活用による畜舎等整備 (9/21 交付決定、10 月着工、3 月完了予定) ・ 農場 HACCP に係る打合せ、チーム会 : 26 回 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>[(農) 四国デュロックファーム]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加工場及び直販所の販売額の増加 ⇒イベントへの出店や営業活動等による販路の拡大及び顧客の確保

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 15 「四万十ヒノキ」をはじめとする地域森林資源の販売(中土佐町、四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町森林組合 ・須崎地区森林組合 ・四万十町 ・中土佐町 ・地元事業者 	<p>[目標(H31)]</p> <p>地域森林資源の原木生産量(ヒノキ、スギ) : 15,400 m³<H26:13,999 m³></p> <p>集成材工場の売上高: 3億円<H26:4億円></p> <p>F S C等認証森林面積: 8,013ha<H26:6,678ha></p> <p>販売連携事業者数: 3社<H26:0社></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>地域森林資源の原木生産量: 14,000 m³</p> <p>集成材工場の売上高: 2.9億円</p> <p>F S C等認証森林面積: 7,000ha</p> <p>販売連携事業者数: 1社</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大正集成材工場展示場整備に関する打合せ: 10回 ・産振総合補助金の活用による大正集成材工場展示場の整備(10/17 交付決定、1月着工、3月完了予定) ・新国立競技場のベンチ(7万席)のサンプルを出荷(8月中旬) ・ジャパンホームショー(東京)へ出展(10/26~10/29) ・四万十町森林組合大正集成材工場の外商回数(11月末): 193回 ・ベッドメーカー(シモンズ)へのベットの納品: 100台 ・H29 新規研究課題検討会(森林技術センター): 1回 研究課題を決定(四万十ヒノキを含めたヒノキ製材品の強度、性能試験) ・四万十ヒノキブランド化協議会 幹事会: 2回、総会: 1回 高知もくもくランドへ出展PR(10/22~10/23) ・製品売上高(11月末): 1.29億円(前年同期比128%) ・F S C等認証森林面積(11月末): 5,424ha <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十ヒノキ集成材製品の販路の拡大 ⇒集成材製品展示場の整備による外商活動の強化 ・四万十ヒノキの認知度の向上 ⇒四万十ヒノキの性能試験の実施、ロゴマーク活用による認知度の向上

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 18 四万十川源流クロモジ等中山間資源活用ビジネスの創出 (中土佐町)</p> <p>《事業主体》 ・高知精工(株)</p>	<p>[目標 (H31)] 商品販売高 : 7,000 千円 < H26 : 5,701 千円 ></p> <p>[H28 到達目標] 商品販売高 : 7,000 千円</p> <p>[取組状況] ・生薬原料製造会社による現地視察 : 1 回 ・新商品試作 : 1 品目 ・新規取引先 : 5 件 ・商品販売高 (11 月末) : 6,630 千円 (前年同期比 138.5%)</p> <p>[課題と今後の対応] ・販路の開拓及び生産量の拡大 ⇒イベントへの出店、HP 等での PR 及び製薬会社等への商談</p>
<p>■No. 21 美味しい! 須崎の魚 (いお) 消費拡大プロジェクト (須崎市)</p> <p>《事業主体》 ・須崎市 ・海の駅「須崎の魚」</p>	<p>[目標 (H31)] 売上高 : 10,000 千円 < H26 : 8,027 千円 > 交流人口 : 10,000 人 < - ></p> <p>[H28 到達目標] 売上高 : 9,000 千円 交流人口 : 9,000 人</p> <p>[取組状況] ・旬の魚まつり開催 : 8 回 ・鯉の薫焼きタタキ体験者数 (11 月末) : 153 人 ・須崎市観光漁業センターとの連携による釣客の魚捌きサービス開始 (7 月~) → 利用者数 (11 月末) : 3 組 ・売上高 (11 月末) : 5,929 千円 (前年同期比 81%) ・交流人口 (11 月末) : 5,790 人</p> <p>[課題と今後の対応] ・ぐるーめ須崎の利活用の促進 ⇒定期的なイベント開催による認知度向上</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 22 野見湾産養殖カンパチの販路拡大 (須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大谷漁協 ・大谷漁協ネイリ部会 ・(株)みなみ丸 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>大谷漁協ネイリ部会・みなみ丸売上高 : 86,960 千円<H26:4,320 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>大谷漁協ネイリ部会・みなみ丸売上高 : 57,612 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネイリ部会での勉強会 : 2 回 ・HACCP 取得に向けた保健所との協議 : 4 回 ・県版 HACCP (第 1 段階) 取得及び第 2 段階申請作業中 ・奈良コープでの試食会の開催 : 7 回 (延べ 14 日間) ・須崎市ふるさと納税返礼品として「極美勘八」を全国発送 ・新規雇用者数 : 1 名 ・売上高 (11 月末) : 18,514 千円 (前年同期比 179%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路の開拓 ⇒県補助事業を活用した商談会への参加
<p>■No. 23 浦ノ内湾産養殖マダイの販路拡大 (須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県漁協深浦支所 ・土佐鯛工房 ・乙女会 ・(株)大東冷蔵 ・(有)小島水産 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売数量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐鯛工房 : 100 千尾<H26:60 千尾> ・乙女会 : 300 千尾<H26:53 千尾> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売数量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐鯛工房 : 約 80 千尾 ・乙女会 : 約 300 千尾 <p>[取組状況]</p> <p>[土佐鯛工房]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外のバイヤーによる産地見学会 : 10 回 <p>[乙女会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィレ等に加工した商品の販売拡大 ・HACCP 取得に向けた検討 ・須崎市ふるさと納税返礼品として「乙女鯛」を全国発送 ・須崎市産振補助金を活用して加工場整備 ・販売数量 (11 月末) 土佐鯛工房 (海援鯛) : 45,418 尾 (前年同期比 97%) 乙女会 (乙女鯛) : 97,688 尾 (前年同期比 53%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HACCP 取得 ⇒アドバイザーや保健所による指導・助言

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 25 中土佐町地域ブランドの創出と販売促進(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中土佐町 ・中土佐町地域振興公社 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>商品売上高：35,987千円<H26:6,635千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>商品売上高：22,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鰹のたたき等の商品PR：7回 ・商談会等：3回(県内)、4回(県外) ・産地見学会等：15回 ・OEM商品の製造販売開始 ・HACCP研修参加：1回 ・商品販売高(11月末)：13,313千円(前年同期比225.1%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「びんび鰹のタタキ」「上々鰹のタタキ」など自社ブランド製品の販売強化 <p>⇒県外の新規販売先の確保などの外商活動</p>
<p>■No. 27 久礼の浜屋敷整備事業(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中土佐町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>—</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内シープロジェクト検討会実施：17回 ・庁内施設(直販所)設計協議：5回 ・出店予定者との協議：6回 ・外部関連団体との協議：3回 ・行政支援による設計・調整協議：18回 ・議会説明、協議：3回 ・町外施設の視察：2回 ・運営会社設立登記(4/27) ・道の駅の実施設設計が完了(7月) ・工事入札・契約 ・テナント協議会立ち上げ(11/17) ・産振アドバイザーの活用(ビジネスプランのブラッシュアップ)：1回(12/12) ・産振総合補助金の活用による道の駅の整備(10月着工、H29.6月完了予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町全体の賑わいの創出に繋がる施設や仕組みづくり <p>⇒お宮さん通りの観光拠点施設や大正町市場等との連携</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の着実な経営 ⇒産振アドバイザー等の活用 ・テナントへの事業サポート ⇒人材育成や商品開発に関する支援制度の提案等
<p>■No. 28 「中土佐のうまいもん食わしちやお」 商品開発プロジェクト（中土佐町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画・ど久礼もん企業組合 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>開発する商品数：年1商品（4商品） 商品売上高：50,000千円<H26：32,180千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>開発する商品数：1商品 商品売上高：35,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品試作：2商品 ・新商品開発：1商品（マグロワタラー油） ・商談会及び営業活動：6回 ・イベント等でのPR販売：11回 ・テレビ、取材等：4回 ・食品表示セミナー参加：1回 ・HACCP研修参加：1回 ・大正町市場の活性化賑わいづくりへの取り組み：11回 ・中土佐町ふるさと納税返礼品の出荷業務受託 ・商品売上高（11月末）：18,193千円（前年同期比98.7%） うち、店舗：5,325千円（前年同期比97.9%） 出荷：12,868千円（前年同期比99.1%） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発 ・販路の拡大 ⇒アドバイザーの活用、セット商品の開発

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 30 津野町地産地消・外商販売戦略 (津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)津野町ふるさとセンター ・(株)満天の星 ・津野町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>直販所販売額 (高知店 3 店舗) : 1 億円<H26:0.91 億円> 直販所総販売額 : 1.62 億円<H26:1.53 億円> 満天の星売上 : 2.27 億円<H26:1.89 億円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>直販所販売額 (高知店 3 店舗) 0.8 億円 直販所総販売額 : 1.55 億円 満天の星売上 : 2.34 億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者経営会議等 : 10 回 ・奥四万十博関連で道の駅食堂の新メニュー開発 ・直販所販売額 (高知店 3 店舗) (11 月末) : 53,171 千円 (前年同期比 94%) ・直販所総販売額 (11 月末) : 102,268 千円 (前年同期比 96%) ・満天の星売上 (11 月末) : 146,519 千円 (前年同期比 109%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズに応えた生産・供給体制 ⇒各店舗ごとの販売状況の分析
<p>■No. 32 高幡地域における広域観光の推進 (高幡地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高幡広域市町村圏事務組合 (高幡広域観光推進本部) 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>主要観光施設入込客数 : 2,459,000 人<H26:1,954,206 人> 宿泊者数 : 51,300 人<H26:40,925 人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>主要観光施設入込客数 : 2,433,216 人 宿泊者数 : 49,033 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥四万十博オープニングイベント来場者数 : 25,000 人 ・奥四万十博推進協議会本部会等開催 : 9 回 ・旅行会社、航空会社での企画商品化 : 3 社 ・テレビCM(15 秒)の実施 (愛媛 448 回、岡山 396 回、高知 475 回) ・道の駅での PR : 松山 ・大型商業施設等での PR : 6 回 (大阪、徳島、香川、愛媛、高知 2 回) ・スポーツ紙等での特集記事掲載 (大阪、名古屋) ・旅行会社へのセールス実施 (東京、福岡、愛媛、岡山) ・コンベンション協会主催のキャラバン参加 (首都圏、関西) ・高知県観光説明会への参加 : 4 回 (東京、大阪、名古屋、岡山)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅飲食コーナー(6店舗)や飲食店での奥四万十博限定メニュー開発 ・商品への奥四万十博ロゴマーク使用登録件数:17件(満天の星豆菓子、土佐足袋、サークルK四万十うなぎ他) ・奥四万十博物産コーナーの設置(高知空港、共済会館、ひろめ市場) ・奥四万十博記念切手販売(須崎郵便局) ・主要観光施設入込客数(12月末):1,706,763人 (前年同期比106%) ・宿泊者数(12月末):40,132人(前年同期比107%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラムの造成、磨き上げ ⇒実績の把握・分析による改善策の提案 ・持続的な広域観光の推進 ⇒博覧会終了後の広域観光のあり方に関する関係機関の協議 ⇒奥四万十観光動向調査の実施・分析
<p>■No.33 須崎市立スポーツセンターを活用した体験型観光等の推進による地域の活性化(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須崎市 	<p>[目標(H31)]</p> <p>交流人口:23,000人<H26:16,000人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>交流人口:17,500人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者へのアンケート調査の実施(大学、高校等) ・新たな体験メニュー導入(サップボード、シーカヤック) ・庁内海洋スポーツパーク建設推進委員会開催(2回) ・県と須崎市関係各課との協議(7回) ・スポーツセンターを活用した地域活性化策に関する検討会の開催(4回) ・須崎市海洋スポーツパーク構想(大島地区及び坂内地区の整備)を決定(10月) ・H29年度開催のすさきOWS(オープンウォータースイミング)大会の実施に向けた協議 ・交流人口(11月末):18,951人 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入体制の充実・強化 ⇒関係団体、地域住民等との協議 ・PRの強化 ⇒合宿等の誘致

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 38 わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町 ・(株)海洋堂 ・(株)奇想天外 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>ホビー館の年間入場客数：50,000人<H26：44,033人> 常勤雇用者数：5人<H26：5人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>ホビー館の年間入場客数：50,000人 常勤雇用者数：5人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展開催：3回 (エヴァンゲリオンフィギュアワールド(3/5～5/30)) (海洋堂造型怪獣総進撃(7/16～10/24)) (情景師アラーキの凄い！ジオラマ展(11/19～2/13)) ・イベントの開催：6回 (ガラポンくじ、ダンスステージ、ビンゴ大会、かっぱうようよ号乗車体験(海洋堂ホビートレイン改装)、第2回全国かっぱサミット in 四万十、第2回かっぱ塾等) ・イベント広報用チラシ作成：2回 ・渋滞対策の実施：14回 (シャトルバスの運行及び警備員の配置) ・PR活動：1回 (ワンダーフェスティバル2016夏(7/24)幕張メッセ) ・入館者数(11月末)：36,989人(前年同期比90%) (延べ入館者数：344,651人(H23.7～H28.11月末)) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋堂ホビー館を拠点とした滞在型観光の仕組みづくり ⇒観光協会や地元団体等との連携強化
<p>■No. 42 肉用牛の生産拡大による地域産業の活性化(梶原町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人津野山畜産公社 ・梶原町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>出荷頭数：129頭<H27：105頭> 販売額：104,000千円<H27：100,969千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>出荷頭数：105頭 販売額：93,700千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産クラスター計画の策定に向け、協議会設立(11/1) ・畜産クラスター協議会開催：2回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産クラスター計画の策定 ⇒協議会構成員、関係者との協議による計画の策定 ・畜舎施設の土地取得、造成 ⇒町補正予算による事業実施

2 平成 28 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
■No. 14 四万十のうまい豚プロジェクト (四万十町)	・分娩豚舎及び繁殖舎の新設、既存施設の離乳舎及び肥育舎への補改修による生産規模拡大 ・精肉やOEM商品の販売拡大	108,505 (16,746)
■No. 15 「四万十ヒノキ」をはじめとする地域森林資源の販売促進 (四万十町森林組合、須崎地区森林組合、四万十町、中土佐町、地元事業者)	・大正集成材工場に展示場を整備することにより、四万十ヒノキ製品の販路の拡大を図る。	36,210 (22,351)
■No. 27 久礼の浜屋敷整備事業 (中土佐町)	・久礼新港背後地に道の駅を整備することにより、地域の所得向上や雇用の創出等を図り、町全体へ経済効果を波及させる。	619,370 (50,000)

3 県民参画に向けた取組

- ・四国銀行等との意見交換会での第3期計画の説明(4/20、8/2)
- ・高知銀行との意見交換会での第3期計画の説明(6/15)
- ・商品開発及び経営改善を目指す事業者等への土佐MBAのPR
(道の駅「かわうその里」ほか8件)
- ・事業者へのHACCP研修会の受講案内(須崎商工会議所ほか16件)

4 相談案件：9件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/18	食品加工	みょうがを使った加工品の原料確保について
2	4/20	製造業	土壌改良剤の製造設備の整備への支援について
3	5/12	食品加工	地域産業クラスターの概念等について
4	5/17	食品加工	田舎寿司の製造に向けた乾燥しいたけの供給先について
5	5/23	農業生産	就農のための農業機械の購入への支援について
6	7/21	水産養殖	水産養殖施設への支援制度について
7	8/16	製造業	新規地域アクションプランの追加協議
8	9/26	食品加工	地域の食材を活用した菓子製品の製造設備への支援について
9	10/12	食品加工	みょうがを使った加工品事業の経営計画策定への支援について